

開講年次・時期	1年前期	授業回数	30回	時間数	60時間	必修・選択	選択必修	授業形態	講義	単位数	4単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	------	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	介護過程Ⅰ	担当者名	芳賀砂智子(実務家教員)
授業の概要	・全てのケアは介護過程を考えたうえで成立していることを学び、支援を提供する根拠を理解する。 ・介護過程が対象者のアセスメント、生活場面の観察、ニーズ把握、計画立案、事務、評価、モニタリングまでの一連の思考過程から成り立っていることを理解する。				
科目の到達目標	・個別援助計画を立案し、適切な介護サービスを提供できる能力を養う。 ・他の科目で学習した知識・技術を総合して介護過程を展開する。 ・介護過程をケアに活かす意味を理解する。				
DPの観点	⑥専門知識・技能(40) ⑦思考力(20) ⑨主体性(20) ⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修 (予習・復習)	・テキストの習熟と専門用語を調べる。 ・予習・復習に関しては、それぞれ2時間程度の学習をすること。				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わり、又は次の授業でフィードバックする。				
単位認定の要件	・授業時間内、決められた期日までの課題提出と、期末試験で合格基準を満たすことを単位認定要件とする。				
評価の方法・割合 (%)	・期末試験(60) 提出物等(20) 授業内活動(20)				
履修上の注意事項	・介護福祉士資格取得必須科目 ・30分以上の遅刻は欠席とする。なお、遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要、介護過程とは	⑥⑦	コミュニケーションカード
2			介護過程と介護福祉士の関係	⑥⑦	コミュニケーションカード
3			考える介護:根拠の必要性	⑥⑦	コミュニケーションカード
4			ICF:国際生活機能分類	⑥⑦	コミュニケーションカード
5			ICFとアセスメント	⑥⑦	コミュニケーションカード
6			介護過程と個別援助計画の関係	⑥⑦	コミュニケーションカード
7			アセスメント:情報を観察・記録する	⑥⑦	コミュニケーションカード
8			アセスメントの留意点	⑥⑦	コミュニケーションカード
9			情報の信憑性:客観的事実と主観的事実	⑥⑦	コミュニケーションカード
10			アセスメント:解釈・関連付け・統合化	⑥⑦	コミュニケーションカード
11			生活支援における介護過程の必要性	⑥⑦	コミュニケーションカード
12			記録の重要性和留意点	⑥⑦	コミュニケーションカード
13			利用者と自己実現の関係	⑥⑦	コミュニケーションカード
14			情報収集の解釈視点を理解する	⑥⑦	コミュニケーションカード
15			アセスメント情報をICFで理解する①	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
16			アセスメント情報をICFで理解する②	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
17			実習における介護過程を理解する①用紙、書き方の説明	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
18			実習における利用者の基本情報の書き方	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
19			実習にけるアセスメント①ADL	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
20			実習におけるアセスメント②利用者の心理状況	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
21			利用者のエンパワメントをし理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
22			情報の解釈①:利用者のニーズを理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
23			情報の解釈②:事例	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
24			利用者のニーズの抽出方法を理解する。	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
25			情報収集と客観性・主観性を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
26			介護過程と薬について理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
27			情報の関連付け・統合化:事例	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
28			ICFの視点の活用を理解する	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
29			まとめ①:事例	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
30			まとめ②:事例	⑥⑦⑨⑩	コミュニケーションカード
期末試験			これまでの学習の振り返りを行う。		

使用テキスト	最新・介護福祉士養成講座 第9巻「介護過程」編集:介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規
参考文献 参考URL	「実習の手引き」青森明の星短期大学
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--